

東北大学教員（教授）公募

情報科学研究科情報基礎科学専攻は教授職の教員 1 名（任期なし）を公募いたします。応募者は、採用された場合、当専攻内の情報応用数理学講座に所属する予定です。本公募では、AI（人工知能）や応用数理に基づくロボティクス分野において、知覚、学習、制御、行動生成等を含む幅広い領域で、先進的な研究プロジェクトを推進できる方を求めていきます。最先端の領域を開拓し、発展させることに強い熱意を持ち、当該分野での深い経験と実績を有する方を広く求めています。

採用された方には、学部と大学院における教育、及び修士論文、博士論文に関する研究指導を担当していただきます。教育や研究は、工学研究科の機械系 4 専攻（機械機能創成、ファインメカニクス、ロボティクス、航空宇宙工学）と連携しながら行っています。なお学部における教育は、工学部機械知能・航空工学科の学生を対象に卒業研究を指導する他、同学科の学生に対し教育を担当していただきます。採用者は国立大学法人東北大学の教員としての待遇を受けます。国籍は特に問いません。

所属： 東北大学大学院情報科学研究科 情報応用数理学講座

勤務地： 東北大学青葉山東キャンパス（機械・知能系）

着任時期： 2027 年 4 月 1 日以降

任期： なし（規定の定年あり）

勤務時間： 専門業務型裁量労働制（1 日に 7 時間 45 分労働したものとみなす）

休日： 土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで）

給与： 年俸制（国立大学法人東北大学給与規程による）

その他、通勤手当、住居手当、扶養手当等を支給する場合があります。

社会保険： 国家公務員共済組合、雇用保険、労災保険加入

応募資格： 博士号を有すること

【提出書類】

- (1) 研究・教育歴を含む履歴書
- (2) 研究業績リスト [査読付き雑誌論文（該当があれば責任著者に印をつける）、全文査読付き国際会議論文、その他の国際会議論文、参考論文(前記以外の論文)、招待講演、著書、解説記事、特許、受賞、研究費獲得状況(代表・分担の別)、学会および社会における活動状況、その他特記事項]
- (3) 主な論文 5 編の別刷（各 1 部）とそれらの概要（各 500 字程度）
- (4) 教育と研究に関する抱負（2000 字程度）
- (5) 応募者の能力や人柄を評価できる方 5 名の氏名、所属、E-mail アドレス
- (6) 出産、育児、介護等、長期間職務に専念することが困難な時期があった場合はその説

明

なお、応募書類は人事選考の終了後に適切な形で破棄いたします。

【応募書類の提出締切】 2026年4月24日（金）

【選考方法】 書類選考の上、面接を行います（面接はオンラインとなる場合もあります）。

【応募書類の送付先】

情報科学研究科総務係（公募専用アドレス） is-kobo@grp.tohoku.ac.jp

件名に「情報応用数理学講座教授応募」と明記してください。

応募書類は一つの ZIP ファイル等にまとめ、クラウドストレージ等にアップロードし、リンク等を送ってください。送信後は編集等しないでください。

1週間以内に受信確認の返信がない場合は総務係（022-795-5813）にお電話ください。

【問い合わせ先】

情報科学研究科総務係（公募専用アドレス） is-kobo@grp.tohoku.ac.jp

【参考】 本学における男女共同参画の取組の指針

東北大学は多様性、公正性、包摶性（Diversity, Equity & Inclusion: DEI）を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

- 東北大学 DEI 推進宣言 Web ページ
<https://dei.tohoku.ac.jp/vision/about/>
- 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第 8 条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
- 学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現することを目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した「東北大学 みんなが主役 多様な性に関するガイドライン」を制定しています。
- ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWeb ページ
https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_minority/
- 東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園（定員 22 名）及び青葉山みどり保育園（定員 116 名）の他、大学病院所属の職員等が利用できる星の子保育園（定

員 120 名) があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。

その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください：

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センター

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_family/

人事企画部

<https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>